

## ■ バーンスタイン／スラヴァ！（政治的序曲）

幕開けは短くも華やかな序曲である。1977年10月11日に初演された「スラヴァ！」はムスティスラフ・ロストロポーヴィチがワシントン・ナショナル交響楽団の音楽監督に就任するのを記念して作られた。タイトルの「スラヴァ！」には2つの意味があって、一つはロストロポーヴィチの愛称、もう一つはロシア語の「栄光」という言葉。まさにロシア人の友人へのお祝いの気持ちが込められた作品というわけだ。

初演版では途中、選挙集会で繰り返される決まり文句、たとえば「私がこの地位に選ばれましたあかつきは…」とか「国民は病んで疲弊している」などといった言葉を録音したテープを再生する部分がある。テープから流れる言葉はやがて音楽にかき消されていく。「政治的序曲」という副題はそうした内容を暗示しているのだろう。

冒頭からヴォードヴィル（軽い喜劇）風の楽想で始まり、7/8拍子のカノン風旋律となる。どちらも親しみやすくワクワクするメロディで、前年に作曲された劇音楽「ペンシルベニア街 1600 番地」からの引用である。短い展開部があったのち、テーマが逆の順番で再現され、終わり近くにムソルグスキーのオペラ「ボリス・ゴドゥノフ」の戴冠シーンからの引用が挟まれる。最後にもちょっとした趣向が…これは聴いてのお楽しみだ。

白石美雪

※掲載された曲目解説の無断転載、転写、複写を禁じます。

楽器編成：ピッコロ、フルート 2、オーボエ 2、イングリッシュホルン、E♭クラリネット、クラリネット 2、バスクラリネット、ソプラノサクソフォーン、ファゴット 2、コントラファゴット、ホルン 4、トランペット 3、トロンボーン 3、チューバ、ティンパニ、スネアドラム、テナードラム、バスドラム、サスペンデッド・シンバル、シンバル、トライアングル、ウッドブロック、タンバリン、むち、ラチェット、スティールパイプ、スライドホイッスル、ドラムセット、グロックンシュピール、シロフォン、チャイム、マリンバ、ヴィブラフォン、エレキギター、ピアノ、録音テープ、弦五部

※スコア上の表記